

公益社団法人日本補綴歯科学会 平成 28 年度および 29 年度

4－6 月期委員会活動報告

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日)

I.	はじめに	(理事長：松村 英雄)
II.	学術委員会	(委員長：大久保力廣)
III.	編集委員会	(委員長：水口 俊介)
IV.	JPR 編集委員会	(委員長：馬場 一美)
V.	財務委員会	(委員長：櫻井 薫)
VI.	広報委員会	(委員長：末瀬 一彦)
VII.	医療問題検討委員会	(委員長：志賀 博)
VIII.	診療ガイドライン委員会	(委員長：佐藤 博信)
IX.	教育問題検討委員会	(委員長：木本 克彦)
X.	専門医制度委員会	(委員長：鱒見 進一)
XI.	専門医認定委員会	(委員長：横山 敦郎)
XII.	社会連携委員会	(委員長：佐々木啓一)
XIII.	国際渉外委員会	(委員長：古谷野 潔)
XIV.	規程検討委員会	(委員長：大川 周治)
XV.	用語検討委員会	(委員長：南 弘之)
XVI.	研究企画推進委員会	(委員長：矢谷 博文)
XVII.	倫理審査委員会	(委員長：小出 馨)
XVIII.	利益相反委員会	(委員長：都尾 元宣)
XIX.	優秀論文賞推薦委員会	(委員長：市川 哲雄)
XX.	特別功労賞推薦委員会	(委員長：櫻井 薫)

I. はじめに

公益社団法人日本補綴歯科学会 理事長 松村英雄

公益社団法人日本補綴歯科学会の平成 28 年 4 月 1 日から 29 年 6 月 30 日までの委員会活動を報告いたします。今期の各委員会は「未来に向けた歯科医療に対応できる日本補綴歯科学会」を目指して事業を遂行してまいりました。歯科を取り巻く社会情勢は大きく変化しておりますが、当法人の会員はここ数年 6,800～6,900 余名で推移しております。今期の学会は会員各個人が学会事業に参画し、補綴の専門家として活動するにあたり、公益社団法人としてどのような対応が可能であるかについて、検討してまいりました。引き続き会員各位からのご支援とご協力をお願い申し上げます。

II. 学術委員会活動報告

1. 委員会構成

委員長：大久保力廣

副委員長：五味治徳

委員：池邊一典, 上田貴之, 隅田由香, 武部 純,
築山能大, 永尾 寛, 西村正宏, 疋田一洋
幹事：佐藤洋平

2. 活動状況

学術委員会を 7 回、プログラム委員会を 2 回開催し、以下の活動を行った。

1) 第 126 回学術大会企画準備について

- (1) 会期：平成 29 年 (2017 年) 6 月 30 日 (金)～7 月 2 日 (日)
- (2) 会場：パシフィコ横浜, 横浜グランドインターコンチネンタルホテル
- (3) 主管校：鶴見大学

- (4) 大会長：大久保力廣
- (5) 準備委員長：西山雄一郎
- (6) 総演題数：234 演題（課題口演：9 演題，一般口演：75 演題，ポスター：143 演題，専門医ケースプレゼンテーション：7 演題）
- (7) 学術企画
 - a. 理事長講演：歯科の基盤を支え，創る補綴の矜持
 - b. 特別講演 2：横浜名物 シウマイ物語
 - c. 海外特別公演：Implant Therapy in the Geriatric Patient
 - d. メインシンポジウム：未来に向けた補綴歯科のアイデンティティー
 - e. シンポジウム 1：CAD/CAM デンチャーはどこまで進んだのか
シンポジウム 2：軟質材料を用いた義歯のラインによる臨床効果
シンポジウム 3：歯科補綴領域の再生医療実現における課題と未来
シンポジウム 4：北米型 vs スカンジナビア型
－日本の補綴専門医はどちらを向いているのか？－
 - f. 臨床スキルアップセミナー：補綴歯科治療を進めるうえで知っておくべき咬合異常
－歯だけにとらわれない診かた考え方－
 - g. 臨床リレーセッション 1：咬合支持に起因する難症例への補綴学的アプローチ：Eichner の分類に応じた補綴介入
臨床リレーセッション 2：温故知新 先人達に学ぶ ー補綴で最も大切なものは何かー
臨床リレーセッション 3：CAD/CAM 冠
－術者目線の支台歯形成－
 - h. 専門医研修会：デジタル技術を用いた歯冠修復の現状と未来
 - i. 委員会セミナー（JPR 編集委員会）：Journal of Prosthodontic Research
－現状と今後の展開－
委員会セミナー（研究企画推進委員会）：公益社団法人日本補綴歯科学会 & 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター共同研究 ー高齢者の歯科口腔・嚥下機能が QOL 及び健康寿命に及ぼす影響ー 研究成果公開シンポジウム
 - j. 歯科衛生士セッション：補綴のプロフェッショナルケアをアップデートする
 - k. ハンズオンセミナー 1：軟質材料を用いた義歯のライン

ハンズオンセミナー 2：口腔内スキャナーの実践

ハンズオンセミナー 3：ファイバーポストコアをマスターする

ハンズオンセミナー 4：有床義歯咀嚼機能検査

- 1. イブニングセッション 1：接着歯学を活用した支台築造法の現状と未来

－ガイドライン作成とイノベーション創出を目指して－

イブニングセッション 2：iPS 細胞研究は歯科補綴学にどのように生かされるのか？

イブニングセッション 3：ここにインプラントが欲しい！

－有床義歯へのインプラントの活用－

イブニングセッション 4：Back to the basic

－ゴシックアーチは本当に必要なのか？－

イブニングセッション 5：インプラント治療における光学印象の活用

－現状と今後の可能性－

イブニングセッション 6：インプラント治療と無歯顎患者の補綴治療

- m. 市民フォーラム：健康長寿の秘訣！

－噛み合わせ・咀嚼・栄養の大切さ－

- (8) 大会期間中に課題口演賞 9 演題ならびにポスター発表 160 演題を審査，集計し，課題口演優秀賞 3 演題，優秀ポスター賞（デンツプライシロナ：6 演題，カボデンタル賞：2 演題）の選考を行い，表彰式において理事長から授与する。
- (9) プログラム・企画演題抄録集と，一般演題・ポスター抄録集を前回大会同様に分けることとした。印刷版としては，プログラム・企画演題抄録集のみを作成する。一般演題・ポスター抄録集は，学会員各位がホームページからダウンロードすることとした。

- 2) 日本歯科医学会平成 28 年度および平成 29 年度プロジェクト研究が採択された。

平成 28 年度 研究題名：デジタルワークフローにおける印象術式の確立と指針の作成

平成 29 年度 研究題名：CAD/CAM 全部床義歯の臨床評価とワークフローの確立

III. 編集委員会活動報告

1. 委員会構成

委員長：水口俊介

副委員長：皆木省吾

委員：石垣尚一，新谷明一，服部佳功，正木千尋，
松山美和，山下秀一郎
幹事：金澤 学

2. 活動状況

委員会活動 編集委員会を2回（平成28年7月15日（金），平成28年12月22日（木）），その他の編集作業，審議を適宜メール上で行った。

1) 8巻2号（2016.4.10発行）

依頼論文：15編，原著論文：2編，技術紹介：1編，
専門医症例報告：4編＋前付・後付，広告 合計
134頁，発行部数7,000部

2) 8巻3号（2016.7.10発行）

依頼論文：10編，原著論文：1編，専門医症例報告：
9編＋前付・後付，広告 合計 120頁 発行部数
6,850部

3) 8巻4号（2016.10.10発行）

依頼論文：19編，専門医症例報告：9編＋前付・後
付，広告 合計 162頁 発行部数6,820部

4) 9巻1号（2017.1.10発行）

依頼論文：8編，原著論文：1編，専門医症例報告：
6編＋前付・後付，広告 合計 120頁 発行部数
6,820部

5) 9巻2号（2017.4.10発行）

依頼論文：9編，原著論文：1編，専門医症例報告：
3編＋前付・後付，広告 合計 96頁 発行部数
6,800部

平成28年4月から平成29年6月末までの投稿論文数は，原著5編，専門医症例報告31編，技術紹介1編であり，受理3編，査読中4編，返却1編である。

学術大会および支部抄録の電子化について

学術大会ならびに支部学術大会の抄録集の取り扱いに関して，

- ・抄録集はJ-stageには掲載せず，日本補綴歯科学会HPに掲載し，学会が一元的に管理することとした。
- ・掲載に際しては，大会長が広告，懇親会案内，アンケートを除き，既知の誤植の修正を含めたPDF版を編集委員会に提出し，編集委員会が内容を確認して，広報委員会にHPへの掲載を依頼する。

<学術大会抄録>

- ・従前通り，日補綴会誌特別号として発行し，Print ISSNのみを付与するが，J-Stageには掲載せず，Online ISSNは付与しない。

<支部学術大会抄録>

- ・支部学術大会抄録集としてHPに掲載するが，合

冊し日本補綴歯科学会誌特別号としての掲載や，ISSNを付与することは行わない。冊子の名称は「日本補綴歯科学会XX支部平成XX年度学術大会抄録集」とする。紙面デザイン，印刷所も支部の裁量とする。

- 6) 支部学術大会抄録フォームの変更（COIに関して）を行なった。

IV. JPR 編集委員会活動報告

1. 委員会構成

委員長：馬場一美

副委員長：細川隆司

委員：石岡美香，江草 宏，加来 賢，重田優子，
谷本安浩，笛木賢治，向山 仁，峯 篤史

幹事：福西美弥

2. 活動状況

1) 編集会議日時

(1) 平成28年度

第1回：2016年5月16日（月）15：00～17：00

第2回：2016年8月1日（月）15：00～17：00

第3回：2016年11月7日（月）14：00～16：00

第4回：2017年2月6日（月）15：00～17：00

(2) 平成29年度

第1回：2017年5月15日（月）15：00～17：00

2) 活動内容

(1) 2016IF:2.561（2014IF:1.547，2015IF:1.693）

(2) 平成29年度 事業計画・予算概要

(3) 60巻3,4号，61巻1,2号の発刊・61巻3号の掲載論文の選定

(4) Web of Scienceを用いた被引用状況の分析と情報共有

(5) 年間掲載ページ数の増加・OA論文掲載

(6) 掲載論文のレイアウト・表紙の変更

(7) Reviewer appreciation の掲載（Vol.61:2）

(8) 投稿規定の改変

(9) メール配信サービスを用いた広報活動

a. ALNS（Article Level Notice Service）：

JPR掲載論文から注目度の高い論文10本を選定し論文紹介メールを関連研究者へ配信

- (500 通 / 1 論文 × 10 論文 = 5,000 通, 2 回 / 年)
- b. WoSAC (Web of Science Author Connect) :
補綴領域研究者へ JPR のフライヤーをメール配
信 (5,000 通, 2 回 / 年)
- (10) 第 126 回日本歯科補綴学会学術大会の委員会
企画
- (11) JPR Best Award 起案と受賞者の推薦 (Review
article, Original article 各一論文)
- (12) JPS メールマガジンを利用した JPR アンバサ
ダー通信の発信 (Vol.5 ~ 30)
- (13) 2016 年 EAO にて JPR 誌の広報活動
- (14) J-Stage アップロード会社の検討
- (15) AE の 論 文 handling 数 (2016.01.01 ~
2016.12.31)
馬場委員長 (737), 細川副委員長 (736), 石
岡委員 (68), 江草委員 (76), 加来委員 (80),
重田委員 (112), 谷本委員 (94), 笹木委員 (111),
峯委員 (131), 向山委員 (64)
- (16) 2016 年に受付した論文数
全 投 稿 数 : 658 本 (最 終 確 定 : 618 本,
Withdraw : 40 本, Accept : 68 本, Reject :
510 本, Reject rate : 88%)

V. 財務委員会活動報告

1. 委員会構成

委 員 長 : 櫻井 薫
副委員長 : 佐藤裕二
委 員 : 飯田 崇
幹 事 : 太田 緑

2. 活動状況

- 1) 学術大会および各支部会計報告を基にした収支計
算書の作成 (1 か月に 1 回)
- 2) 表彰関連経費規則の改定案の作成
- 3) 第 12 期決算報告書 (自:平成 27 年 4 月 1 日, 至:
平成 28 年 3 月 31 日) の作成と検討
- 4) 平成 28 年度統計セミナーの予算案の審議および
決算書の承認
- 5) 平成 28 年度 IJP-JPS-YPE workshop の予算案の
審議および決算書の承認
- 6) 第 125 回学術大会決算案の検討および承認
- 7) 第 126 回学術大会予算案の検討および承認
- 8) 「規程集²⁾ 会員の種別等の取扱い規定 第 9 条」
記載内容審議
- 9) 平成 29 年度事業計画を基にした予算概要の審議

- 10) 平成 29 年度収支予算案の作成
- 11) 専門医の更新料の改訂に関する審議
- 12) 委員会における旅費規程の改訂に関する審議
- 13) 第 13 期決算報告書 (自:平成 28 年 4 月 1 日, 至:
平成 29 年 3 月 31 日) の作成と検討
- 14) プロソ '16 収支決算案の検討および承認
- 15) 計 7 回の財務委員会 (内 2 回はメール会議)
- 16) 公印の管理
- 17) 各支部および委員会等からの問い合わせへの回答

VI. 広報委員会活動報告

1. 委員会構成

委 員 長 : 末瀬一彦
副委員長 : 高橋 裕
委 員 : 猪子芳美, 越智守生, 金村清孝, 木本 統,
小泉政幸, 田地 豪, 月村直樹, 中村隆志,
根本玲奈
幹 事 : 谷岡款相

2. 活動状況

1) 広報委員会の開催

平成 28 年 8 月 31 日に第 1 回広報委員会を開催
した。

平成 29 年 3 月 28 日に第 2 回広報委員会を開催
した。

2) メールマガジンの発行

平成 27 年 9 月 4 日から配信を開始し (毎週金曜
日発行), 平成 29 年 6 月 16 日に No.91 を発行した。

3) 学会ホームページの改訂, 更新

平成 27 年 7 月 1 日から平成 29 年 6 月 16 日まで
に 373 件の更新を行った。

4) ニュースレター発行

Letter for Members は日本補綴歯科学会誌とは別
の刊行物であるにもかかわらず, 通巻ページとなっ
ているため, 「印刷物の発行の在り方の検討」の一環
として, 日本補綴歯科学会誌に綴じ込むことを取り
やめ, 平成 28 年 4 月より, 電子版 (PDF) のみ発行し,
HP に掲載することとし, 年 2 回の発行とした。

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 6 月 16 日まで
に, 合計 3 号を発行した。

掲載内容は下記のとおりであった。

(1) 平成 28 年 4 月号 (No.58)

a. 支部学術大会報告

— 東京支部学術大会

— 西関東・東関東合同支部学術大会

- 関越支部学術大会
- b. 専門医研修会報告
 - 東京支部専門医研修会
 - 関西支部専門医研修会
- (2) 平成 28 年 10 月号 (No.59)
 - a. 第 125 回学術大会
 - 第 125 回学術大会
 - 平成 28 年度専門医研修単位認定セミナー
 - 市民フォーラム
 - b. 受賞者の声
 - 平成 27 年度学会優秀論文賞
 - 第 125 回学術大会優秀賞
 - c. 歯科補綴学臨床研究のための医療統計学 2 日間集中セミナー開催報告
- (3) 平成 29 年 4 月号 (No.60)
 - a. 支部学術大会報告
 - 九州支部, 中国・四国支部合同学術大会
 - 東京支部学術大会
 - 東北・北海道支部学術大会
 - 関西支部学術大会
 - 関越支部学術大会
 - 東海支部学術大会
 - 西関東支部学術大会
 - 東関東支部学術大会
 - b. 25th Annual Scientific Meeting of the European Association for Osseointegration 報告
 - c. IJP-JPS Workshop for Young Prosthodontic Educators 開催報告
 - d. 第 2 回補綴歯科臨床研鑽会「プロソ '16」開催報告
- 4) 会員用 HP の仕様更新

平成 28 年 11 月 17 日に HP の仕様更新を完了した。
- 5) 英文 HP の更新

平成 28 年 11 月 17 日に英文 HP の改訂・更新を完了した。
- 6) 支部 HP 開設

支部 HP 開設は、補綴学会における今期の事業の一環として進められており、平成 29 年 4 月に開設したところである。支部 HP の更新については、直接、支部会からインサイドフィールドへ連絡していただき、cc. にて、総務・広報委員会（委員長、幹事）を宛先に追加していただくこととした。（毎週月曜日：更新依頼締め切り、毎週木曜日：更新完了）

VII. 医療問題検討委員会活動報告

1. 委員会構成

委員長：志賀 博

副委員長：田中昌博

委員：佐藤裕二、鈴木哲也、竹内義真、田上直美、
富山雅史、山口泰彦、山森徹雄

幹事：横山正起

2. 活動状況

委員会は 6 回開催し、必要に応じて適宜メール会議を実施し、以下のことを行った。

1) 平成 30 年度診療報酬改定用医療技術評価提案書について

平成 30 年度診療報酬改定用医療技術評価提案書について、対象症例の制限、予想影響額の減額等に考慮し、保険未収載技術として「磁性アタッチメントを用いた義歯の支台装置」（鈴木委員）、「在宅歯科診療時の臼歯単独冠へのシリコンゴム印象材による咬合印象法」（田中副委員長）、「口腔内スキャナーによる光学印象法」（竹内委員）、「咬合圧検査」（佐藤委員）、「歯科用金属への皮内反応検査料」（田上委員）の 5 件、保険既収載技術として「歯ぎしりに対する咬合床（スプリント）の調整料」（山口委員）、「有床義歯咀嚼機能検査」（志賀委員長）、「大白歯部 CAD/CAM 冠」（志賀委員長）、「臼歯部テンポラリークラウン」（田上委員）、「4/5 冠に対する支台築造」（田上委員）、「軟質材料を用いた有床義歯内面適合法」（志賀委員長）、「フック、スパー（1 個につき）の保険収載廃止」（竹内委員）、「金属裏装ポンティックの保険収載廃止」（松村理事長）の 8 件を日本歯科医学会に提出した。なお、「磁性アタッチメントを用いた義歯の支台装置」は日本歯科審美学会と日本磁気歯科学会、「有床義歯咀嚼機能検査」は日本顎口腔機能学会、「大白歯部 CAD/CAM 冠」は日本接着歯科学会、「咬合圧検査」は日本老年歯科医学会、「臼歯部テンポラリークラウン」は、日本歯科審美学会と共同提案とした。

2) 指針の作成について

「保険収載されたファイバーポストを用いた支台築造」、「軟質裏装材による下顎総義歯の裏装」、「有床義歯咀嚼機能検査」、「舌圧検査」の 4 項目の（診療）指針を作成した。なお、ファイバーポストについては日本接着歯学会、有床義歯咀嚼機能検査については日本顎口腔機能学会、舌圧検査については日

本老年歯科医学会に提出，修正依頼を行った。指針は，委員長会に提出後，日本補綴歯科学会のホームページに掲載された。

3) 診療報酬改定セミナーについて

「ファイバーポストを用いた支台築造」，「間接法を用いたシリコン系軟質裏装材による下顎総義歯の裏装」，「有床義歯咀嚼機能検査」について，配布資料と講演スライドの作成を行い，各支部ごとに下記の日程で診療報酬改定セミナーを開催した。また，配布資料は，委員長会に提出後，日本補綴歯科学会のホームページに掲載された。

- (1) 関西支部診療報酬改定セミナー（平成 28 年 8 月 27 日）大阪歯科大学天満橋学舎 100 周年記念会 4 階大講義室
- (2) 東北・北海道支部診療報酬改定セミナー（平成 28 年 9 月 11 日）北海道大学学術交流会館
- (3) 東京支部診療報酬改定セミナー（平成 28 年 9 月 25 日）日本大学歯学部研修医講堂
- (4) 中国・四国支部診療報酬改定セミナー（平成 28 年 10 月 16 日）岡山コンベンションセンターコンベンションホール
- (5) 東海支部診療報酬改定セミナー（平成 28 年 10 月 16 日）松本歯科大学図書館 2 階学生ホール
- (6) 九州支部診療報酬改定セミナー（平成 28 年 11 月 20 日）福岡県歯科医師会館
- (7) 関越支部診療報酬改定セミナー（平成 28 年 12 月 4 日）ラマダホテル新潟
- (8) 西関東支部診療報酬改定セミナー（平成 28 年 12 月 4 日）神奈川県歯科医師会館
- (9) 東関東支部診療報酬改定セミナー（平成 29 年 2 月 4 日）東天紅千葉スカイウインドウズ

4) 要望書，回答書等

厚生労働省に，部分被覆冠による歯冠修復を行う場合においても支台築造の算定が認められるよう，「M002 支台築造」の保険適用拡大の要望書を提出した。

厚生労働省から日本歯科医学会に見解の依頼があった「部分被覆冠による歯冠修復と支台築造の適応」に対し，失活歯に対する 3/4 冠，4/5 冠による歯冠補綴は，歯科用接着材料が向上していることから歯科医学的に妥当であり，また，メタルコアおよびファイバーポストによる支台築造は適切であると考える旨の回答書を提出した。

厚生労働省から依頼があった CAD/CAM 冠の適応について，「後継永久歯がない乳臼歯への対応に

についての考え」と「下顎大臼歯を歯根分割した場合の連結冠を用いる場合の適応に対する考え」についての回答書を提出した。

5) 平成 28 年度医療技術評価提案書の検証

日本歯科医学会から平成 28 年度医療技術評価提案書において保険収載に至らなかったものの内容について検証依頼があり，「義歯床で被覆されたバー」，「ポステリア・テンポラリークラウン」の 2 件について，保険収載の要望書を提出した。

6) 平成 29 年度日本歯科医学会プロジェクト研究について

「超小型ウェアラブル筋電計によるブラキシズム検査システムの開発」について申請を行った。

7) 日本歯科医学会連合医療問題関連事業について

日本歯科医学会連合から依頼があった医療問題関連事業について，「臼歯単独冠へのシリコンゴム印象材による咬合印象法についての調査研究」の申請を行った。

8) 歯学系学会社会保険委員会連合（歯保連）への参加

山森委員が参加し，歯保連試案の作成を行った。歯保連試案は，医療技術評価提案書の作成に必要であることから，学会として購入することが委員長会で了承され，改訂版が委員に配布された。

9) その他の医療問題関連

スクラップアンドビルドのスクラップについて，今後も継続調査するとともに，選定療養と併用する内容であるかを確認することとした。

在宅医療におけるインプラント上部構造のメンテナンス関連について，現状と問題点について今後も調査することとした。

チタンクラスプについて，鋳造機メーカーの有無を含め，今後も調査・検討することとした。

VIII. 診療ガイドライン委員会

1. 委員会構成

委員長：佐藤博信

副委員長：藤澤政紀

委員：會田英紀，飯沼利光，尾澤昌悟，桑鶴利香，松香芳三，水口 一

幹事：松浦尚志

2. 活動状況

- 1) 平成 28 年度第 1 回診療ガイドライン委員会 平成 28 年 6 月 17 日（金）

- 2) 平成 28 年度第 2 回診療ガイドライン委員会(メール会議) 平成 28 年 6 月 30 日(木)
- 3) 平成 28 年度第 3 回診療ガイドライン委員会 平成 28 年 11 月 11 日(金)
- 4) 平成 28 年度第 4 回診療ガイドライン委員会(メール会議) 平成 29 年 1 月 6 日(金)
- 5) 平成 28 年度第 5 回診療ガイドライン委員会 平成 29 年 2 月 24 日(金)

3. 活動内容

1) ブラキシズムの診療ガイドラインの策定

前年度からのブラキシズムの診療ガイドライン「睡眠時ブラキシズム患者に対する各種の検査について」の策定を継続した。日本顎口腔機能学会からの外部評価を参考にガイドラインを部分修正し、最終版が Minds に掲載された。さらに、Minds からインタビューを受け、その内容である本ガイドラインの作成プロセスが Minds の教育コンテンツとして掲載されることとなった。

2) ガイドラインの改訂

(1) 「接着ブリッジのガイドライン」

前年度に内部評価によって修正したガイドラインを日本接着歯学会に外部評価を依頼した。外部評価後若干修正したガイドラインを最終版として、Minds に申請した。

(2) 「リラインとりベースのガイドライン」

システマティックレビューチームを結成し、クリニカルクエスチョン(CQ)の選定を行った。文献検索を図書館協会に外部依頼して作業を進める予定である。次期への引き継ぎ作業とした。

(3) セカンダリーパブリケーション

ポジションペーパー「補綴歯科治療病名システムの信頼性と妥当性の検討」(日補綴会誌 5: 281-290, 2013)のセカンダリーパブリケーションとして、JPR に投稿し、査読審査の後、掲載された(Matsuka Y, et al. Reliability and validity of the patient disability-oriented diagnostic nomenclature system for prosthetic dentistry. J. Prosthodont. Res. 2017; 61: 20-33)。

3) ガイドラインワークショップ等への参加

- (1) 第 19 回診療ガイドライン作成グループ意見交換会(2016 年 7 月 23 日: 水口委員, 松浦幹事)
- (2) Minds フォーラム 2017 患者・市民のための診

療ガイドライン意見交換会(2017 年 1 月 28 日: 飯沼委員, 水口委員)

4) ガイドライン・教育基準等のカテゴリーの整備とホームページへの掲載

ガイドラインや教育基準などの出版物のカテゴリーの整備を行った。ガイドラインは、Minds 収載、日本歯科医学会収載、および未収載に分類した。出版年を明らかにし、PDF をホームページ上で閲覧できる形式とした。また、作成中のガイドラインも名称のみ掲載し、閲覧者に情報提供する形式とした。その他、ポジションペーパー、その他のガイドライン・指針などのカテゴリーも設けた。新たに、教育基準の項目を設定し、学部教育用と専門医研修用の 2 種類に分類し、閲覧できる形式を整えた。以上を広報委員会と連携し、ホームページの改変を行った。

IX. 教育問題検討委員会

1. 委員会構成

委員長: 木本克彦

副委員長: 河相安彦

委員: 石神 元, 魚島勝美, 河野文昭, 田中順子

幹事: 星 憲幸

2. 活動状況

歯科補綴学の教育課題についての検討を行った。本委員会は 4 回の会議を公益社団法人日本補綴歯科学会会議室にて行い、その他はメール会議にて協議した。

1) 補綴歯科専門医研修プログラムの作成について

(1) 「補綴歯科専門医研修プログラムはどうあるべきか? - 欧米のプログラムに学ぶ -」(専門継続研修・専門医制度のあり方, 米国における歯科補綴専門医養成プログラム)を日本補綴歯科学会誌に投稿し(日補綴会誌 9: 16-32, 2017)。本学会のプログラム指針との整合性を図った。

(2) 前委員会より引継ぎの「補綴歯科専門医研修プログラムの作成指針」を、平成 28 年 10 月にホームページへ掲載した。

(3) 引き継ぎ本委員会で「補綴歯科専門医研修プログラムの作成指針」のブラッシュアップを行い、最終案を学会へ提出した。

2) 本学会会員に対する教育コンテンツ(ビデオ)の作成について

クラウン系: 「正しい接着性レジンセメントの使用

法」と有床系:「リライン」の2題の教育コンテンツ(ビデオ)を完成し、学会へ提出した。

- 3) 歯学教育モデル・コア・カリキュラム【平成28年度版】に係わる意見照会について
大きな変更はなく、項目は増やさずに、用語の統一や文言の加筆・修正を提案した。

X. 専門医制度委員会

1. 委員会構成

委員長：鱒見進一

副委員長：窪木拓男

委員：小川 匠，越野 寿，村田比呂司，
若林則幸

幹事：楨原絵理

2. 活動状況

- 1) 平成28年度第1回専門医制度委員会(メール会議)
平成28年4月4日(月)
- 2) 平成28年度第2回専門医制度委員会(メール会議)
平成28年6月6日(月)
- 3) 平成28年度第1回 専門医制度委員会 平成28年6月20日(月)
- 4) 平成28年度第3回専門医制度委員会(メール会議)
平成28年7月25日(月)
- 5) 平成28年度第4回専門医制度委員会(メール会議)
平成28年7月28日(月)
- 6) 平成28年度第5回専門医制度委員会(メール会議)
平成28年9月6日(火)
- 7) 平成28年度第6回専門医制度委員会(メール会議)
平成28年9月15日(木)
- 8) 平成28年度第7回専門医制度委員会(メール会議)
平成28年10月11日(火)
- 9) 平成28年度第2回 専門医制度委員会 平成28年12月9日(金)
- 10) 平成29年度第1回専門医制度委員会(メール会議)
平成29年5月9日(火)
- 11) 平成29年度第2回専門医制度委員会(メール会議)
平成29年5月30日(火)
- 12) 平成29年度第1回 専門医制度委員会 平成29年6月12日(月)

3. 活動内容

- 1) 平成28年度 公益社団法人 日本補綴歯科学会 第2回補綴歯科臨床研鑽会「プロソ'16」開催

テーマ：補綴装置による機能回復を目指して

会期：2016年12月10日(土)，11日(日)

会場：ベルサール新宿セントラルパーク

会費：無料

12月10日(土)

シンポジウム1「パーシャルデンチャーによる機能回復」

座長：若林則幸(医歯大)，村田比呂司(長崎大)

講師：鳥巢哲朗(長崎大)，依田信裕(東北大)，

月村直樹(日本大)，笹木賢治(医歯大)

シンポジウム2「オーバーデンチャーによる機能回復」

座長：窪木拓男(岡山大)，鱒見進一(九歯大)

講師：中村好徳(愛院大)，兒玉直紀(岡山大)，

和田誠大(大阪大)，中居伸行(関西支部)

12月11日(日)

シンポジウム3「コンプリートデンチャーによる機能回復」

座長：村田比呂司(長崎大)，越野 寿(北医療大)

講師：松田謙一(大阪大)，金澤 学(医歯大)，

新保秀仁(鶴見大)，川西克弥(北医療大)

シンポジウム4「特殊補綴装置による機能回復」

座長：鱒見進一(九歯大)，小川 匠(鶴見大)

講師：堀 一浩(新潟大)，楨原絵理(九歯大)，

隅田由香(医歯大)，重田優子(鶴見大)

2) 専門医多肢選択試験の実施(125回学術大会時)

平成28年7月8日(金)15:00～石川県立音楽堂にて専門医多肢選択試験を開催した。

3) 125回学術大会における専門医研修単位認定セミナーの開催

(1) 臨床リレーセッション1 有床義歯臨床の疑問に答える 平成28年7月9日(土)

座長：大久保力廣(鶴見大)

講師：松下恭之(九州大)，若林則幸(医歯大)，

永田省蔵(九州支部)，上田貴之(東歯大)

(2) 専門医研修会 パーシャルデンチャーの印象と咬合を考える 平成28年7月10日(日)

座長：鱒見進一(九歯大)

講師：山下秀一郎(東歯大)，

都尾元宣(朝日大)，石上友彦(日本大)

4) 支部における専門医研修会の開催

(1) 東北・北海道支部 平成28年10月29日(土)

(2) 関越支部 平成28年1月16日(土)

(3) 東関東支部 平成29年2月4日(土)

(4) 東京支部 平成28年11月20日(日)

(5) 東海支部 平成28年10月16日(日)

- (6) 関西支部 平成 29 年 1 月 22 日 (日)
- (7) 中国・四国支部 平成 28 年 10 月 16 日 (日)
- (8) 九州支部 平成 28 年 9 月 4 日 (日)
- 5) その他
 - (1) 専門医多肢選択試験の準備 (126 回学術大会時)
 - (2) 126 回学術大会における専門医研修単位認定セミナーの開催準備
 - (3) 平成 29 年度各支部における専門医研修会の開催承認
 - 中国・四国支部 平成 29 年 8 月 27 日 (日)
 - 東海支部 平成 29 年 10 月 28 日 (土)

XI. 専門医認定委員会

1. 委員会構成

委員長：横山敦郎

副委員長：佐藤 亨

委員：武部 純, 小野高裕, 猪野照夫, 菅沼岳史,
中村善治, 岩堀正俊, 高橋一也, 田地 豪,
村田比呂司

幹事：坂口 究

2. 活動状況

- 1) 平成 28 年度第 1 回専門医認定委員会 平成 28 年 4 月 19 日 (火)
- 2) 平成 28 年度第 2 回専門医認定委員会 平成 28 年 10 月 26 日 (水)
- 3) 平成 28 年度専門医認定委員会(第 1 回メール会議) 平成 28 年 4 月 7 日～11 日
- 4) 平成 28 年度専門医認定委員会(第 3 回メール会議) 平成 28 年 5 月 2 日～12 日
- 5) 平成 28 年度専門医認定委員会(第 4 回メール会議) 平成 28 年 7 月 20 日～31 日
- 6) 平成 28 年度専門医認定委員会(第 5 回メール会議) 平成 28 年 8 月 28 日～10 月 13 日
- 7) 平成 28 年度専門医認定委員会(第 5 回メール会議継続) 平成 28 年 10 月 5 日～13 日
- 8) 平成 28 年度専門医認定委員会(第 6 回メール会議) 平成 28 年 11 月 24 日～12 月 2 日
- 9) 平成 28 年度専門医認定委員会(第 7 回メール会議) 平成 28 年 12 月 27 日～平成 29 年 1 月 5 日
- 10) 平成 28 年度専門医認定委員会(第 8 回メール会議) 平成 29 年 2 月 12 日～20 日
- 11) 平成 28 年度専門医認定委員会(第 9 回メール会議) 平成 29 年 2 月 26 日～28 日
- 12) 平成 29 年度第 1 回専門医認定委員会 平成 29 年

4 月 14 日 (水)

3. 活動内容

- 1) 委員会業務の変化に伴う規程, 規則の変更
- 2) 専門医関係の各種様式等の変更
- 3) 専門医申請ケースプレゼンテーション: 37 題
 - (1) 第 125 回学術大会 9 題
 - (2) 第 126 回学術大会 7 題
 - (3) 東北・北海道支部学術大会 2 題
 - (4) 西関東支部学術大会 1 題
 - (5) 東京支部学術大会 4 題
 - (6) 東関東支部学術大会 3 題
 - (7) 関越支部学術大会 3 題
 - (8) 東海支部学術大会 3 題
 - (9) 関西支部学術大会 2 題
 - (10) 九州・中国四国支部合同学術大会 3 題
- 4) 専門医, 指導医, 終身指導医ならびに認定研修機関の新規, 更新ならびに代表指導医交代の認定
新規専門医 42 名, 新規指導医 25 名, 新規終身指導医 8 名, 新規認定研修機関 (甲) 1 機関, 新規認定研修機関 (乙) 1 機関を認定し, 専門医 284 名, 認定研修機関 (甲) 7 機関, 認定研修機関 (乙) 9 機関の更新, 認定研修機関 (甲) 2 機関の代表指導医交代を認定した。
- 5) 専門医症例報告査読
33 編 (平成 29 年 5 月 30 日現在) の症例報告論文を査読した。尚, ケースプレゼンテーションにおける 2 名の審査委員が査読を担当する査読者 2 名体制での査読方法を継続している。

XII. 社会連携委員会

1. 委員会構成

委員長：佐々木啓一

副委員長：津賀一弘

委員：鈴木 基, 高津匡樹, 吉岡 文

幹事：小川 徹

2. 活動状況

本委員会では, この期間において, メール会議を含み計 12 回の会議を開催し, 第 126 回学術大会ならびに各支部学術大会における市民フォーラムおよび生涯学習公開セミナーのテーマ, 講師・座長について協議した。公益法人である日本補綴歯科学会としては, 公益事業の推進が使命であり, 市民フォーラム, 生涯学習公開セミナーをはじめ社会貢献活動への積極的な取

り組みが求められているところである。そのため、本委員会では、一般市民に対しては「市民フォーラム」を通して、歯科医師会会員等一般歯科医に対しては「生涯学習公開セミナー」を通して、補綴歯科を中心に歯科・口腔保健に関する情報発信を、大会校および各支部との連携のもと企画・開催した。28年度は、歯科診療報酬改定により新たに保険導入された補綴歯科関連の治療や検査機器に関する内容が多かったため、支部開催の生涯学習セミナーでは新規導入の治療・検査に関し、本会の見解を交えて提供することが多かった。なお、本会から社会への発信をより強調するため、上記企画の座長・講師については原則として本会会員とすることに留意し、選定を行ってきた。

28年度の実施事業は以下の通りである。

1) 生涯学習公開セミナーの開催

東北・北海道支部

- (1) 日時：平成28年10月30日（日）
- (2) 場所：北海道大学工学部 オープンホール
- (3) テーマ：「インプラントの上部構造に付与すべき咬合様式」
- (4) 座長：横山敦郎（北海道大）
- (5) 講師：近藤尚知（岩手医大）

関越支部

- (1) 日時：平成28年11月6日（日）
- (2) 場所：朱鷺メッセ
- (3) テーマ：「ファイバーポスト併用レジンコアをマスターする」
- (4) 座長：小出 馨（日歯大新潟）
- (5) 講師：坪田有史（東京支部）、天川由美子（東京支部）

東関東支部・西関東支部

- (1) 日時：平成29年2月5日（日）
- (2) 場所：京成ホテルミラマール
- (3) テーマ：「歯科におけるデジタルデンティストリーへの期待と展望」
- (4) 座長：小見山 道（日大松戸）
- (5) 講師：疋田一洋（北医療大）

東京支部

- (1) 日時：平成28年9月24日（土）
- (2) 場所：日本歯科大学九段ホール
- (3) テーマ：「保険導入された舌圧検査」
- (4) 座長：志賀 博（日歯大）
- (5) 講師：小野高裕（新潟大）、津賀一弘（広島大）

西関東支部

- (1) 日時：平成29年1月22日（日）
- (2) 場所：神奈川県歯科保健総合センター（神奈川

県歯科医師会館）

- (3) テーマ：「接着技法を最大限に活用した支台築造～ファイバーポストの応用とその根拠～」

- (4) 座長：木本克彦（神歯大）

- (5) 講師：中村善治（鶴見大）、峯 篤史（大阪大）
東海支部

- (1) 日時：平成28年11月13日（日）

- (2) 場所：松本市 M ウイング文化センター

- (3) テーマ：「今、最も変化しつつある歯科医療-Digital Dentistry」

- (4) 座長：石神 元（朝日大学）

- (5) 講師：竹市卓郎（愛院大）、佐藤博信（福歯大）
関西支部

- (1) 日時：平成28年10月30日（日）

- (2) 場所：あべのハルカス

- (3) テーマ：「保険導入された補綴学的検査を、より身近に」

- (4) 座長：馬場俊輔（大歯大）

- (5) 講師：志賀 博（日歯大）、末瀬一彦（大歯大）、吉田光由（広島大）

中国・四国支部、九州支部

- (1) 日時：平成28年9月4日（日）

- (2) 場所：熊本県歯科医師会館

- (3) テーマ：「知っているようで知らない最新補綴治療の問題点」

- (4) 座長：窪木拓男（岡山大）

- (5) 講師：峯 篤史（大阪大）、新谷明一（日歯大）

2) 市民フォーラムの開催

平成28年度は、市民フォーラムを学会主催として9回開催した。

- (1) 平成28年7月10日（日）

- a. 会場：もてなしドーム 地下イベント広場

- b. 主催：（公社）日本補綴歯科学会

- c. テーマ：「最後まで人間らしく生きるために一口の機能は大切か？」

- d. 座長：市川哲雄（徳島大）

- e. 講師：杉 政和（関西支部）、小野高裕（新潟大）

- (2) 平成28年9月4日（日）

- a. 会場：くまもと森都心プラザ

- b. 主催：（公社）日本補綴歯科学会九州支部、中国・四国支部

- c. テーマ：「在宅医療における口腔ケアの重要性」

- d. 座長：篠原直幸（九州支部）

- e. 講師：友枝 圭（九州支部）

- (3) 平成28年9月10日（土）

- a. 会場：くにびきメッセ

- b. 主催：(公社) 日本補綴歯科学会関西支部, (学校法人) 大阪歯科大学共催
 c. テーマ：「めざそう健康長寿：QOL 向上に直結する口腔ケア」
 d. 講師：小正 裕 (大歯大)
- (4) 平成 28 年 10 月 29 日 (土)
 a. 会場：北海道大学工学部 オープンホール
 b. 主催：(公社) 日本補綴歯科学会東北・北海道支部
 c. テーマ：「健康長寿はお口から一嚙むこと, 飲むこと, しゃべること」
 d. 座長：服部佳功 (東北大)
 e. 講師：小林國彦 (北海道大)
- (5) 平成 28 年 10 月 30 日 (日)
 a. 会場：パシフィコ横浜 会議センター
 b. 主催：(公社) 日本補綴歯科学会西関東支部, 神奈川県歯科医師会, 日本歯科医師会 共催
 c. テーマ：「かながわ 健やか県民宣言 ～元気に生きる, おいしく食べる～」
 d. 講師：野口 健, 小泉進次郎, 竹内博朗, 小川 匠 (鶴見大)
- (6) 平成 28 年 11 月 6 日 (日)
 a. 会場：朱鷺メッセ
 b. 主催：(公社) 日本補綴歯科学会関越支部, 新潟県歯科医師会 共催
 c. テーマ：「口腔と健康」
 d. 座長：渡邊文彦 (日歯大新潟)
 e. 講師：新海史子, 木戸寿明, 浅沼直樹 (日歯大新潟)
- (7) 平成 28 年 11 月 12 日 (土)
 a. 会場：松本中央公民館 (Mウイング文化センター)
 b. 主催：(公社) 日本補綴歯科学会東海支部
 c. テーマ：「高齢者の口腔機能と健康」
 d. 座長：武部 純 (愛院大)
 e. 講師：服部佳功 (東北大), 小野高裕 (新潟大)
- (8) 平成 28 年 11 月 20 日 (日)
 a. 会場：日本歯科大学九段ホール
 b. 主催：(公社) 日本補綴歯科学会東京支部
 c. テーマ：「嚙むこと, 嚙めることと健康」
 d. 座長：五味治徳 (日歯大)
 e. 講師：志賀 博 (日歯大)
- (9) 平成 29 年 2 月 5 日 (日)
 a. 会場：京成ホテルミラマレー
 b. 主催：(公社) 日本補綴歯科学会 東関東支部, 千葉県歯科医師会 共催

- c. テーマ：「なぜ, かかりつけ歯科医がいると長生きか」
 d. 講師：星 旦二 (首都大)

XIII. 国際渉外委員会

1. 委員会構成

委員長：古谷野 潔

副委員長：澤瀬 隆

委員：大久保力廣, 小見山道, 近藤尚知,
馬場一美, 矢谷博文

幹事：荻野洋一郎

2. 活動状況

1) インド補綴学会からの研修受け入れ

インド補綴学会 (IPS) からの交換留学生の受け入れに関する業務を行った。

Name	Duration	University
DR.MAYANK SINGH (MALE)	4 weeks	Tokushima University (Prof. Matsuka)
DR.LAKSHYA KUMAR (MALE)	4 weeks	Tokyo Medical and Dental University (Prof. Wakabayashi)
DR.PANKAJ KHARADE (MALE)	6-8 weeks	Okayama University (Prof. Kuboki)
DR.POONAM MALIK SEHRAWAT (FEMALE)	4 weeks	Kanagawa Dental University (Prof. Kimoto)
DR.TAMBE ABHIJIT ANIL (MALE)	4-6 weeks	Osaka University (Prof. Maeda)

2) IJP-JPS Workshop for Young Prosthodontic Educators の開催

平成 28 年 11 月 24 日～27 日の期間に京都市・松風研修センターでの本ワークショップの準備, 運営を行った。参加者 36 名, 海外講師 8 名, 国内講師 8 名, 運営スタッフ 4 名が参加した。

3) 海外招待講演者の選定, および海外招待講演者の招聘

海外の学会での本会会員の招待講演者の選定と本会の学術大会, 支部学術大会での海外講演者の招聘を行った。

(1) 招待講演者の選定 (敬称略)

AAP: 馬場一美, IPS: 木本克彦, 吉田恵一

PCSP: 小見山 道 (2017 年 6 月予定), EPA: 會田英紀 (2017 年 9 月予定)

(2) 海外講師の招聘

2016 年度中四国支部・九州支部合同学術大会:

ニューヨーク大学・山野精一先生

2017 年度本会学術大会：

Dr. Frauke Muller (University of Geneva)

Dr. Hana Hubalkova (Charles University,
EPA より推薦)

Dr. Laura Himawan (University of Indonesia,
インドネシア補綴学会より推薦)

4) 各学会との交流について

(1) AAP: JPS からの以下のメンバーを選定した.

Dr. Tetsuo Ichikawa (President-elect of JPS)
as Vice President

Dr. Misao Kawara (Secretary of JPS) as
Secretary

Dr. Hideo Matsumura as Secretary

Dr. Chikahiro Okubo as Councilor

Dr. Hirofumi Yatani as Country/Regional
Representative

Dr. Kiyoshi Koyano as a Past President of
AAP

(2) CPS, KAP

2017 年度日中韓 3 か国補綴学会に関する会
員への周知を行った.

期日：2017 年 10 月 18-20 日 場所：浙江省
温州市

(3) EPA

Annual meeting での JPS からの講演者の推
薦, 並びに本会, 学術大会への招聘を行った.

(4) IPS (インド)

交換留学生の受け入れ, IPS での招待講演者
の推薦を行った.

(5) PCSP

交流協定の締結後の協議を矢谷委員, 小見山
委員を中心に行うことを協議, 決定した.

(6) EAO

2016 Annual meeting での JPR のブース設
置, 広報活動を行った. (馬場委員)

(7) APS, AP

会員への学会開催の周知を本会 HP 等で行っ
た.

XIV. 規程検討委員会

1. 委員会構成

委員長：大川周治

副委員長：小野高裕

委員：小泉寛恭, 中本哲自, 古屋純一, 吉川峰加

幹 事：岡本和彦

2. 活動状況

1) 委員会開催

(1) 第 1 回 (メール会議):平成 28 年 4 月 12 日 (火)
～平成 28 年 4 月 15 日 (金)

(2) 第 2 回 (メール会議):平成 28 年 5 月 2 日 (月)
～平成 28 年 5 月 16 日 (月)

(3) 第 3 回 (メール会議):平成 28 年 9 月 24 日 (土)
～平成 28 年 10 月 14 日 (金)

(4) 第 4 回 (メール会議):平成 28 年 11 月 18 日 (金)
～平成 28 年 11 月 21 日 (月)

(5) 第 5 回 (メール会議):平成 28 年 12 月 22 日 (木)
※支部規則の改正状況について問い合わせ

(6) 第 6 回 (メール会議):平成 29 年 2 月 22 日 (水)
～平成 29 年 3 月 10 日 (金)

2) 制定した規程

該当なし

3) 改正した規程, 規則, 細則および申し合わせ

(1) ㉔ 会員の種別等の取扱い規程 (平成 28 年 12
月 16 日改正)

(2) ㉔ 役員等の会務担当規程 (平成 29 年 3 月 27
日改正)

(3) ㉔ 表彰制度規程 (平成 28 年 10 月 28 日改正)

(4) ㉔ 専門医認定委員会規程 (平成 29 年 3 月 27
日改正)

(5) ㉔ 倫理審査委員会規程 (平成 29 年 3 月 27 日
改正)

(6) ㉔ 倫理調査委員会規程 (平成 29 年 3 月 27 日
改正)

(7) ㉔ 若手研究者国際交流助成制度委員会規程 (平
成 28 年 5 月 30 日改正)

(8) ㉔ 優秀論文賞選考規則 (平成 28 年 10 月 28 日
改正)

(9) ㉔ 専門医制度規則 (平成 29 年 3 月 27 日改正)

(10) ㉔ 専門医制度施行細則 (平成 29 年 3 月 27 日
改正)

4) 廃止した規程

該当なし

5) 改正した支部規則

(1) ㉔ 東京支部 (平成 28 年 9 月 24 日改正)

6) 今期の主たる改正内容

(1) ㉔ 役員等の会務担当規程
第 4 条第 2 項

委員長は、理事会の承認を得て、代議員の
中から理事長が委嘱する。

第9条

会費は毎年度分（4月から3月まで）を当該年度の5月末までに納入しなければならない。

第13条

第5条および第8条各号に規定する入会金および年会費は、原則として公益目的事業に充当するものとする。ただし、その40%から50%の範囲内において理事長が定めた額は管理費（法人会計）に充当することができる。

- (2) 31 倫理審査委員会規程（平成29年3月27日改正）

第3条第3項

倫理審査委員会委員長は、理事会の承認を得て、代議員の中から理事長が委嘱する。

- (3) 23 専門医認定委員会規程（平成29年3月27日改正）

第8条第5号

認定研修機関（乙）の实地調査

- (4) 45 専門医制度規則

第5条第3項第4号

(1)、(2) および (3) について实地調査を受け、適格と認定されていること

- (5) 46 専門医制度施行細則

第7条第3号

更新手数料 10,000 円（専門医および認定研修機関）

7) 次期への引き継ぎ事項

- (1) 63 東海支部、65 中国・四国支部規則は平成29年度の支部総会で改正予定
(2) 40 表彰関連経費規則は改正について協議中

XV. 用語検討委員会

1. 委員会構成

委員長：南 弘之

副委員長：黒岩昭弘

委員：岡崎定司，川口智弘，鬼原英道，古地美佳

幹事：村原貞昭

2. 活動状況

委員会を5回（メール会議1回を含む）開催し、以下のことを行った。

- 1) 前年度に引き続き、「歯科補綴学専門用語集 第4版」の英語表記について、全用語について The Journal of Prosthetic Dentistry の The Glossary

of Prosthodontic Terms 8th Edition (GPT8) との対比作業を行い、終了した。

- 2) 和英対比において、日本人が誤用しやすいなど特に重要と思われる用語を抽出し、それに対する解説文の作成を行った。
3) 日本歯科医学会からの『日本歯科医学会学術用語集』改定に伴う『選定用語ならびに同義語の選定基準』決定について、日本歯科医学会から分科会への確認依頼に基づいて、補綴関連の追加・削除候補用語の選定作業を完了した。

XVI. 研究企画推進委員会

1. 委員会構成

委員長：矢谷博文

副委員長：玉置勝司

委員：鮎川保則，大野 彩，菊谷 武，権田知也，菅沼岳史，前川賢治

幹事：石垣尚一

2. 活動状況

1) 委員会開催

- (1) 平成28年度第1回：平成28年4月1日
(2) 平成28年度第2回：平成28年4月25日
(3) 平成28年度第3回：平成28年9月5日
(4) 平成28年度第4回：平成28年11月25日
(5) 平成29年度第1回：平成29年6月2日
(6) 研究企画推進委員会・学術委員会合同シンポジウム打合せ：平成29年1月29日
(7) その他：適宜メール会議を開催

2) 平成28年度群馬県草津町口腔機能調査（地域在住高齢者包括検診「草津につこり検診」）に参加

- (1) 実施日：平成28年7月4日(月)～7月8日(金)
(2) 参加者：玉置勝司，大野 彩，菅沼岳史，菊谷 武，前川賢治（以上委員）
梅木賢人（日大松戸），沼本 賢（岡山大），永島圭吾（日歯大），一色ゆかり（神歯大）

3) 平成29年度群馬県草津町口腔機能調査（地域在住高齢者包括検診「草津につこり検診」）への参加準備

- (1) 実施日：平成29年7月3日(月)～7月7日(金)
(2) 参加予定者：矢谷博文，玉置勝司，鮎川保則，権田知也，前川賢治（以上委員）
小山絵理（岡山大），梅木賢人（日大松戸），永島圭吾（日歯大）

4) 平成28年度研究企画推進委員会・学術委員会合

同シンポジウム（通算 4 回目）の開催

(1) 事業名称

公益社団法人 日本補綴歯科学会 主催
平成 28 年度 研究企画推進委員会・学術委員会
合同シンポジウム
「要介護高齢者の口腔インプラントをどう活かしていくべきか」

(2) 開催日時：平成 29 年 1 月 29 日（日）13：00～17：00

(3) 開催場所：神奈川歯科大学附属横浜研修センター 6 階教室
(神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町 3-31-6)

(4) 参加者数：51 名

(副理事長 1 名，研究企画推進委員会 7 名，学術委員会 7 名，会員 29 名，非会員 7 名)

(5) 座長

矢谷博文（研究企画推進委員会委員長，大阪大）
大久保力廣（学術委員会委員長，鶴見大）

(6) 講師

菊谷 武（日歯大・口腔リハビリテーション多摩クリニック）
「介護の現場から口腔インプラントを考える」
武田孝之（東京支部）
「機能してきたインプラントを最後に邪魔ものにさせないために」
河相ありみ（NPO 法人介護者サポートネットワークセンター・アラジン）
「介護者支援をとおして見えてきたもの」
佐藤裕二（昭和大・高齢者歯科学講座）
「歯科訪問診療におけるインプラント治療の実態調査」

5) プロジェクト研究費公募用テーマ案 1 件（「日本人における歯の欠損進行に関するコホート研究」）の提出

6) 地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センターとの共同研究「高齢者の歯科口腔・嚥下機能が QOL 及び健康寿命に及ぼす影響」の研究企画

(1) 応募締切りを平成 28 年 8 月 31 日とし，公募を行った。

(2) 公募期間中に研究企画 3 題の応募があり，協議の結果，岡山大学大学院医歯薬学総合研究科インプラント再生補綴学分野 小山絵理先生の研究計画書が採択された。

(3) 研究企画推進委員会からの企画課題および公募採択課題について，研究成果を第 126 回学術大会において研究企画推進委員会主催の委員会セ

ミナーとして以下の通り開催予定。

a. 企画名称：公益社団法人日本補綴歯科学会 & 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター共同研究－高齢者の歯科口腔・嚥下機能が QOL 及び健康寿命に及ぼす影響－研究成果公開シンポジウム

b. 平成 29 年 7 月 2 日（日）11:20～12:20 第 2 会場

c. 座長

矢谷博文（研究企画推進委員会委員長，大阪大学）

玉置勝司（研究企画推進委員会副委員長，神奈川歯科大学）

d. 発表者

前川賢治（研究企画推進委員会，岡山大）

全身の健康状態に資する口腔の状況の実態把握に関する調査研究

小山絵理（岡山大）

地域在住高齢者における低体重および低栄養発生のリスク因子の検討

XVII. 倫理審査委員会

1. 委員会構成

委員長：小出 馨

副委員長：櫻井 薫

委員：市川哲雄，篠原光代，正岡直樹，柴崎栄一

幹事：佐藤利英

2. 活動状況

平成 28 年度

1) 平成 29 年 1 月 31 日に「中央治験審査委員会・中央倫理審査委員会の在り方会議運営事業」のガイドライン公開検討会が，東京のお茶の水 TKP カンファレンスセンターで開催されたので，出席し意見交換を行った。

2) 平成 29 年 2 月 10 日に東京医科歯科大学で，「第 2 回研究倫理を語る会」が昨年の第 1 回に引き続き開催された。この会の目的は，医学系研究に関連のある者が一堂に会し，多方面からの様々な情報の共有と意見交換の場を設けて，「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」への今後の対応を検討することである。今回は，「改正個人情報保護法」が施行されるのに伴う医療・医学研究における個人情報に関する今後の取り扱いについて，意見交換を行った。

- 3) 倫理審査の申請が1件あり、平成29年2月23～25日の間に倫理審査委員会でメール会議を行って対応した。

平成29年度4～6月期

- 1) この度改正された個人情報保護法は、平成27年9月9日に公布され、平成29年5月30日より全面施行された。4月21日に開催された本学会委員長会で、次年度からは学術大会、支部学術大会、生涯学習公開セミナー、専門医研修会、ならびに学会誌等で公表される「人を対象とした研究および臨床」で、データの提示にあたり対象となる個人を特定できる可能性がある場合は、すべての個人に対して説明と承諾書への署名とその保管が、発表者と共同研究者に義務づけられていることの周知が必要である旨を報告した。

XVIII. 利益相反委員会

1. 委員会構成

委員長：都尾元宣

副委員長：祇園白信仁

委員：市川哲雄、大川周治、柴崎栄一

幹事：岩堀正俊

2. 活動状況

平成28年度に開催された理事会・委員長会において利益相反に関する事項について各委員にメールにて連絡を行った。

また、本委員会は利益相反状態にある本学会会員（主に開業医、勤務医）からの質問、要望への対応をおこない、当該者からの申し出があった時点でその旨を事務局あるいは総務から通知を受けて委員会を開催する。現在までにその事例は発生していません。

XIX. 優秀論文賞推薦委員会

1. 委員会構成

委員長：市川哲雄

委員：櫻井 薫、大久保力廣、水口俊介、
馬場一美、大川周治

2. 活動状況

平成28年度優秀論文賞受賞候補者の選考について

平成29年2月2日に委員会を開催した。規程に基づき検討した結果、学会論文賞候補者1名、奨励論文賞候補者5名、JPR Best Paper Award 候補者

2件4名を選考して理事長に推薦し、平成28年度公益社団法人日本補綴歯科学会第2回理事会（平成29年3月27日開催）において承認された。

【学会論文賞】

- 1) 河相安彦（日大松戸）

「A double blind randomized clinical trial comparing lingualized and fully bilateral balanced posterior occlusion for conventional complete dentures. Journal of Prosthodontic Research DOI: 10.1016/j.jpor.2016.07.003.」

【奨励論文賞】

- 1) 菊井美希（大阪大）

「Relationship between metabolic syndrome and objective masticatory performance in a Japanese general population: The Suita study. Journal of Dentistry doi:10.1016/j.jdent.2016.10.014.」

- 2) 檜垣宣明（徳島大）

「Periodontal tactile input activates the prefrontal cortex. Scientific Reports. doi:10.1038/srep36893.」

- 3) 安波礼之（九州大）

「Acceleration of hard and soft tissue healing in the oral cavity by a single transmucosal injection of fluvastatin-impregnated poly (lactic-co-glycolic acid) microspheres. An in vitro and rodent in vivo study. Biomedical Materials doi:10.1088/1748-6041/11/1/015001.」

- 4) 小川晃奈（日大松戸）

「The influence of patient characteristics on acrylic-based resilient denture liners embedded in maxillary complete dentures. Journal of Prosthodontic Research 2016 ; 60 : 199-205.」

- 5) 酒井拓郎（昭和大学）

「Effect of clonazepam and clonidine on primary sleep bruxism: a double-blind, crossover, placebo-controlled trial. Journal of Sleep Research doi:10.1111/jsr.12442.」

【JPR Best Paper Award】

- 1) Yo Shibata (Showa University),

Yasuhiro Tanimoto (Nihon University)

「A review of improved fixation methods for dental implants. Part I: Surface optimization for rapid osseointegration. Journal of Prosthodontic Research 2015 ; 59 : 20-33」

- 2) Kinji Noda (Okayama University),

Takuo Kuboki (Okayama University)

「A longitudinal retrospective study of the analysis of the risk factors of implant failure by the application of generalized estimating equations. Journal of Prosthodontic Research 2015 ; 59 : 178-184」

XX. 特別功労賞推薦委員会

1. 委員会構成

委員長：櫻井 薫

委員：市川哲雄，川良美佐雄，志賀 博，
大久保力廣，大川周治

2. 活動状況

平成 28 年度日本補綴歯科学会特別功労賞推薦委員会を平成 29 年 2 月 2 日に開催し，資料をもとに審議の結果，小宮山彌太郎会員，相田化学工業株式会社，Ivoclar Vivadent 株式会社を候補者として全会一致で選出し，所定の書類を添えて，理事長に推薦し，平成 28 年度公益社団法人日本補綴歯科学会第 2 回理事会（平成 29 年 3 月 27 日開催）において承認された。

公益社団法人 日本補綴歯科学会役員 役員・委員会委員一覧

(任期：平成 29 年 6 月 30 日～平成 31 年 5 月または 6 月に開催予定の定時総会の終結の時)

理 事 長：市川哲雄		理 事：特命Ⅰ	津賀一弘
副理事長：大川周治（次期理事長候補者）		理 事：特命Ⅱ	服部佳功
副理事長：	志賀 博	監 事： 櫻井 薫	
常務理事：総務	横山敦郎	監 事： 山森徹雄	
常務理事：学術	馬場一美	支 部 長： 横山敦郎（東北・北海道）	
理 事：編集	大久保力廣	小野高裕（関越）	
理 事：財務	水口俊介	藤澤政紀（東関東）	
理 事：広報	越野 寿	志賀 博（東京）	
理 事：医療問題検討	田中昌博	井野 智（西関東）	
理 事：診療ガイドライン	小野高裕	武部 純（東海）	
理 事：教育問題検討	澤瀬 隆	矢谷博文（関西）	
理 事：専門医制度	河相安彦	河野文昭（中国・四国）	
理 事：専門医認定	高橋 裕	西村正宏（九州）	
理 事：社会連携	山口泰彦	理事長幹事：永尾 寛	
理 事：国際渉外	細川隆司	理事長幹事：横山正起	
理 事：規程検討	武部 純	理事長幹事：飯田 崇	
理 事：用語検討	西村正宏	総 務 幹 事：坂口 究	
理 事：研究企画推進	窪木拓男	支部長会幹事：岡本和彦	

委員会委員

学術委員会

委 員 長	馬場一美	幹 事	高場雅之
副委員長	江草 宏		
委 員	疋田一洋，馬場俊輔，鮎川保則，上田貴之，笛木賢治，槇原絵理，横山紗和子，峯 篤史		

編集委員会

委 員 長	大久保力廣	幹 事	佐藤洋平
副委員長	藤澤政紀		
委 員	石垣尚一，金澤 学，二川浩樹，羽鳥弘毅，福西美弥，正木千尋，松村英雄，谷田部 優		

財務委員会

委 員 長	水口俊介	幹 事	猪越正直
副委員長	山下秀一郎		
委 員	坂口 究		

広報委員会

委 員 長	越野 寿	幹 事	豊下祥史
副委員長	都尾元宣		
委 員	菊池雅彦，猪子芳美，岡本和彦，月村直樹，重田優子，中村隆志，田地 豪，松浦尚志		

医療問題検討委員会

委員 長 田中昌博 幹事 田中順子
 副委員長 五味治徳
 委員 佐藤裕二, 鈴木哲也, 南 弘之, 近藤尚知, 田上直美, 竹内義真

診療ガイドライン委員会

委員 長 小野高裕 幹事 長谷川陽子
 副委員長 會田英紀
 委員 飯沼利光, 尾澤昌悟, 中島純子, 松田謙一, 水口 一

教育問題検討委員会

委員 長 澤瀬 隆 幹事 黒嶋伸一郎
 副委員長 築山 能大
 委員 河野文昭, 古屋純一, 山下秀一郎, 権田知也

専門医制度委員会

委員 長 河相安彦 幹事 大久保昌和
 副委員長 村田比呂司
 委員 魚島勝美, 中本哲自, 藤原 周, 松山美和, 若林則幸, 北川 昇, 小泉寛恭

専門医認定委員会

委員 長 高橋 裕 幹事 川口智弘
 副委員長 小川 匠
 委員 金村清孝, 黒川 裕臣, 木本 統, 笛木賢治, 井野 智, 新村弘子, 石垣尚一, 大倉一夫, 細川隆司

社会連携委員会

委員 長 山口泰彦 幹事 谷内田 渉
 副委員長 関根秀志
 委員 島田 淳, 坪田有史, 吉岡 文

国際渉外委員会

委員 長 細川隆司 幹事 近藤祐介
 副委員長 小見山 道
 委員 松香芳三, 池邊一典, 渡邊郁哉, 隅田由香, 有馬太郎

規程検討委員会

委員 長 武部 純 幹事 安藤彰浩
 副委員長 佐藤 亨
 委員 小峰 太, 新谷明一, 高山滋子

用語検討委員会

委員 長 西村正宏 幹事 村上 格
 副委員長 岡崎定司
 委員 木本克彦, 秋葉陽介, 木本 統, 古地美佳

研究企画推進委員会

委員長 窪木拓男 幹事 前川賢治
副委員長 玉置勝司
委員 大野 彩, 小川 徹, 菊谷 武, 菅沼岳史, 藤澤政紀, 竜 正大

特命委員会 I

委員長 津賀一弘 幹事 吉川峰加
委員 石垣尚一, 飯田 崇, 渡邊 恵

特命委員会 II

委員長 服部佳功 幹事 山口哲史
委員 池邊一典, 松山美和, 堀 一浩, 横山正起

JPR 編集委員会

委員長 松村英雄 幹事 小峰 太
副委員長 皆木省吾
委員 熱田 生, 鬼原英道, 二川浩樹

倫理審査委員会

委員長 鱒見進一 幹事 楨原絵理
副委員長 大川周治
委員 若林則幸, 篠原光代, 柴崎栄一, 正岡直樹

利益相反委員会

委員長 小宮山彌太郎 幹事 横山正起
副委員長 小出 馨
委員 志賀 博, 馬場一美, 柴崎栄一

平成 29・30 年度 公益社団法人日本補綴歯科学会代議員一覧

<東北・北海道支部>

會田 英紀	雨宮 幹樹	上田 康夫	江草 宏	近江谷尚紀	奥山 弥生	越智 守生
菊池 雅彦	鬼原 英道	越野 寿	児玉 厚三	小林 國彦	小山 重人	近藤 尚知
齋藤 正恭	佐々木啓一	鈴木 卓哉	鈴木 基	清野 晃孝	関根 秀志	高道 理
田中 義博	千葉 豊和	豊下 祥史	中北 芳伸	服部 佳功	疋田 一洋	廣瀬由紀人
舞田 健夫	松田 葉	山口 哲史	山口 泰彦	山本 秀	山森 徹雄	横山 敦郎

(35 名)

<関越支部>

浅沼 直樹	荒井 良明	魚島 勝美	宇野 清博	小野 高裕	加来 賢	黒川 裕臣
小出 馨	佐藤 利英	藤井 規孝	堀 一浩	渡邊 文彦		(12 名)

<東関東支部>

會田 雅啓	浅野 隆	飯島 守雄	伊藤 誠康	猪野 照夫	岩瀬 直樹	岩田 昌久
大川 周治	大久保昌和	岡根 秀明	岡本 和彦	河相 安彦	川良美佐雄	木本 統
小林 平	小見山 道	佐藤 雅介	鈴木 浩司	関 雅寛	成田 紀之	藤澤 政紀
古谷 容	森 宏 樹	若見 昌信				(24 名)

<東京支部>

秋山 仁志	荒川 一郎	飯島 裕之	飯沼 利光	石崎 憲	今村 嘉宣	岩佐 文則
上田 貴之	大神浩一郎	大谷 賢二	大山 哲生	尾関 雅彦	乙丸 貴史	栈 淑行
春日井昇平	菊地 康記	北川 昇	小池 麻里	小泉 寛恭	小林健一郎	小峰 太
五味 治徳	櫻井 薫	佐藤 亨	佐藤 裕二	塩田 真	志賀 博	島田 淳
新谷 明一	菅沼 岳史	鈴木 哲也	隅田 由香	高津 匡樹	高宮紳一郎	瀧澤 朋章
武田 友孝	谷口 尚	塚崎 弘明	月村 直樹	永井 栄一	難波 鍊久	野嶋 昌彦
野本俊太郎	萩原 重一	萩原 芳幸	波多野泰夫	馬場 一美	樋口 大輔	笛木 賢治
福永 秀樹	藤井 重壽	藤関 雅嗣	船登 雅彦	古屋 純一	細田 透	細見 洋泰
堀田 宏巳	松田 哲治	松村 英雄	三浦 宏之	水口 俊介	宮崎 隆	谷田部 優
山下秀一郎	横山 正起	吉田 恵一	若林 則幸			(67 名)

<西関東支部>

青山 繁	井野 智	大久保力廣	大野 晃教	小川 匠	川越 元久	木本 克彦
小泉 政幸	小久保裕司	近藤 永	佐藤 洋平	重田 優子	鈴木 恭典	高橋 晃子
高山 慈子	玉置 勝司	中村 善治	濱野 奈穂	星 憲幸	丸尾勝一郎	三浦 英司

(21 名)

<東海支部>

荒木 章純	石神 元	伊藤 裕	宇野 光乗	岡 俊男	尾澤 昌悟	倉澤 郁文
黒岩 昭弘	佐久間重光	竹市 卓郎	竹内 一夫	武部 純	田中 清雄	土屋総一郎
中本 哲自	橋本 和佳	秦 正樹	服部 正巳	羽鳥 弘毅	日比 英晴	藤原 周
星合 和基	蒔田 真人	都尾 元宣	宮前 真	村上 弘	柳田 史城	山村 理
吉岡 文						(29 名)

<関西支部>

浅井 加雄	新井 是宣	池邊 一典	伊崎 克弥	石垣 尚一	大槻 榮人	岡崎 定司
岡田 政俊	奥田 啓之	奥野 幾久	恩地 良幸	柿本 和俊	柏木 宏介	川畑 直嗣
吉備 政仁	楠本 哲次	小正 裕	権田 知也	佐古 好正	佐藤 正樹	末瀬 一彦
高橋 一也	高橋 利士	龍田 光弘	田中 順子	田中 昌博	土居 聖	鳥井 克典
長島 正	中野 環	中村 隆志	西崎 宏	額田 和門	馬場 俊輔	原 朋也
藤原 到	松田 謙一	瑞森 崇弘	峯 篤史	宮内 修平	六人部慶彦	矢谷 博文
山本さつき	吉峰 茂樹	若林 一道	和田 誠大			(46 名)

<中国・四国支部>

阿部 泰彦	安部倉 仁	池田 隆志	市川 哲雄	今井 誠	河野 文昭	久保 隆靖
窪木 拓男	近藤 康弘	貞森 紳丞	白井 肇	玉本 光弘	津賀 一弘	友竹 偉則
永尾 寛	中島啓一朗	二川 浩樹	西川 啓介	西川 悟郎	原 哲也	堀 祥二
前川 賢治	松香 芳三	松山 美和	皆木 省吾	吉田 光由		(26 名)

<九州支部>

有田 正博	安東 俊介	小柳 進祐	古谷野 潔	澤瀬 隆	清水 博史	平 曜輔
高橋 裕	田口 則宏	築山 能大	都築 尊	鳥巢 哲朗	中島 清一	中村 康司
西 恭宏	西村 正宏	細川 隆司	牧平 清超	正木 千尋	鱒見 進一	松浦 尚志
松下 恭之	南 弘之	嶺崎 良人	村田比呂司	山下 潤朗	渡邊 郁哉	(27 名)
						計 287 名

会 務 報 告

公益社団法人日本補綴歯科学会
平成 29 年度第 1 回臨時理事会議事録

I. 開催日時：平成 29 年 6 月 30 日（金）

11:00～11:30

II. 会場：ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル パール

神奈川県横浜市西区みなとみらい 1 丁目 1-1

TEL 045-223-2222

III. 理事現在数および定足数ならびに出席理事数およびその氏名（敬称略）

現在理事数 20 名

定足数 11 名

出席理事数 20 名

出席した理事の氏名

松村英雄，市川哲雄，櫻井 薫，川良美佐雄（議事録作成者），大久保力廣，水口俊介，馬場一美，末瀬一彦，志賀 博，佐藤博信，木本克彦，鱒見進一，横山敦郎，佐々木啓一，古谷野 潔，大川周治，南 弘之，矢谷博文，小出 馨，都尾元宣

IV. 監事現在数および出席監事氏名（敬称略）

監事現在数 2 名

出席した監事の氏名 小宮山彌太郎，二川浩樹

V. 陪席者氏名（敬称略）

理事長幹事 小峰 太

総務幹事 飯田 崇

事務局 瀬口邦夫，石川義孝

VI. 議長の氏名（敬称略）

松村英雄

VII. 議題

第 1 号議案 公益法人の事業報告等に関する定期提出書類承認に関する件

第 2 号議案 新入会員に関する件

報告事項

1) 代表理事および業務執行理事の職務執行状況の報告の件

2) その他

VIII. 理事会の議事の経過の要領およびその結果

1) 定足数の確認

定刻，理事長が議長席に着き開会を宣し，本理事会は定款第 44 条の規定に定める定足数を満たしており，適法に成立した旨を告げ，議題の審議に入った。

2) 議案の審議状況および議決結果等

第 1 号議案 公益法人の事業報告等に関する定期提出書類承認に関する件

議長から，公益法人の事業報告等に関する定期提出書類に関する件について，別紙資料に基づき，各項目に関する説明がなされた。当該書類の提出につき承認願いたい旨，および軽微な文言の修正等については事務局に一任願いたい旨が諮られた。

審議の結果，原案通り出席理事全員一致にて承認した。

第 2 号議案 新入会員に関する件

議長の求めに応じ，川良常務理事から定款第 7 条の規定により，平成 29 年 5 月 24 日から平成 29 年 6 月 23 日までの正会員 5 名，準会員 1 名の入会者について別紙資料に基づき承認したい旨の提案がなされた。

審議の結果，原案通り出席理事全員一致にて承認した。

報告事項

1) 代表理事および業務執行理事の職務執行状況の報告の件

理事長，副理事長および常務理事からそれぞれ自己の職務の執行状況の報告がなされた。

2) その他

以上をもって議事の審議等を終了したので，議長は 11 時 30 分閉会を宣し，解散した。

この議事録が正確であることを証するため，出席した理事および監事が記名押印する。

平成 28 年 6 月 30 日

公益社団法人日本補綴歯科学会

議長 代表理事（理事長）松 村 英 雄 ㊟

監事 小宮山 彌太郎 ㊟

監事 二 川 浩 樹 ㊟

会 務 報 告

公益社団法人日本補綴歯科学会
平成 29 年度定時総会議事録

I. 開催日時：平成 29 年 6 月 30 日（金）

13：30～14：45

II. 会場：ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル シルク

〒220－0012

神奈川県横浜市西区みなとみらい 1 丁目 1－1

III. 出席した社員の数およびその行使することができる議決権の数

- | | |
|----------------------|-------|
| 1) 議決権のある当法人の社員総数 | 285 名 |
| 2) 総社員の議決権の数 | 285 個 |
| 3) 出席社員数（委任状による者を含む） | 265 名 |
| 4) この議決権の総数 | 265 個 |

IV. 出席役員等（敬称略）

代表理事 松村英雄

理事 市川哲雄，櫻井 薫，川良美佐雄（議事録作成者），大久保力廣，水口俊介，馬場一美，末瀬一彦，志賀 博，佐藤博信，木本克彦，鱒見進一，横山敦郎，佐々木啓一，古谷野 潔，大川周治，南 弘之，矢谷博文，小出 馨，都尾元宣

監事 小宮山彌太郎，二川浩樹

V. 開会

定刻，川良常務理事から本日の社員総会は定款第 26 条に規定する定足数に達している旨の報告がなされた。次いで，定款第 24 条の規定により，近藤康弘代議員が議長に選ばれて議長席につき，本会は適法に成立したので開会する旨を宣し，直ちに議事に入った。

VI. 議事の経過の要領およびその結果

【報告事項】

平成 28 年度事業報告の件

議長の指名により，川良常務理事から，別紙資料「平成 28 年度事業報告書」に基づき，当法人の平成 28 年度における事業報告が行われた。

【決議事項】

第 1 号議案 平成 28 年度計算書類（貸借対照表および正味財産増減計算書）および財産目録承認の件

議長の指名により，櫻井常務理事から，別紙資料「計算書類（貸借対照表および正味財産増減計算書）および財産目録」に基づき，平成 28 年度における貸借対照表，正味財産増減計算書等の説明があった。

これを受けて小宮山監事から，別紙資料「監査報告書」に基づき，この事業報告および決算書類には前年度の状況が正確に記載されており，適正である旨の説明があり，議長がその承認を求めたところ，満場異議なく承認可決された。

第 2 号議案 名誉会員推薦の件

議長の指名により，川良常務理事から，別紙資料「名誉会員推薦書およびご略歴」に基づき，関越支部の小林 博会員，東京支部の石上友彦代議員，東京支部の祇園白信仁代議員，東海支部の山内六男代議員，関西支部の前田芳信代議員に関する名誉会員の推薦書および略歴等の説明があった。

次いで，議長が，小林 博会員，石上友彦代議員，祇園白信仁代議員，山内六男代議員，前田芳信代議員を名誉会員へ推薦したい旨の承認を求めたところ，賛成多数をもって承認された。

第 3 号議案 2 年以上会費未納に伴う会員の除名の件

議長の指名により，川良常務理事から，別紙資料「2 年以上の会費未納者一覧」に基づき，平成 29 年 3 月末日における 2 年以上の会費未納者に対する除名の説明があった。

次いで，議長が 2 年以上の会費未納者に対して除名したい旨の承認を求めたところ，賛成多数をもって承認された。

第 4 号議案 第 128 回学術大会の大会長選任の件

議長の指名により，川良常務理事から，平成 28 年度第 2 回臨時理事会にて，第 128 回学術大会の開催は，横山敦郎代議員（北海道大）が大会長として承認された旨が報告された。

次いで，議長が第 128 回学術大会の開催は，横山敦郎代議員を大会長として開催したい旨の承認を求めたところ，賛成多数をもって承認された。

第 5 号議案 理事選任に関する件

議長は，現職理事の任期満了に伴い，その後任者を選任する必要がある旨を述べ，その選任方法を諮ったところ，出席社員中から「議長一任」との発言があり，議長はその可否を会議に諮ったところ，満場一致で承認された。

次いで，議長は次に掲げる 20 名を理事候補者に指名し，各候補者それぞれについて，後任の理事として選任したい旨を述べ，順にその賛否を問うたところ，満場一致をもって承認された。

なお，被選任者は，全員その就任を承諾した。

理事 市川哲雄，大川周治，大久保力廣，小野高裕，

河相安彦，窪木拓男，越野 寿，澤瀬 隆，志賀 博，高橋 裕，武部 純，田中昌博，津賀一弘，西村正宏，服部佳功，馬場一美，細川隆司，水口俊介，山口泰彦，横山敦郎

第 6 号議案 監事選任に関する件

議長は，現職監事の任期満了に伴い，その後任者を選任する必要がある旨を述べ，その選任方法を諮ったところ，出席社員中から「議長一任」との発言があり，議長はその可否を会議に諮ったところ，満場一致で承認された。

次いで，議長は次に掲げる 2 名を監事候補者に指名し，各候補者それぞれについて，後任の監事として選任したい旨を述べ，順にその賛否を問うたところ，満場一致をもって承認された。

なお，被選任者は，全員その就任を承諾した。

監事 櫻井 薫，山森徹雄

VII. 報告事項（事業報告以外の事項）

松村理事長，市川副理事長，櫻井副理事長，川良常務理事，志賀常務理事からそれぞれ自己の職務の活動状況

の報告がなされた。

川良常務理事，大久保理事，馬場理事，櫻井副理事長，末瀬理事，志賀常務理事，佐藤理事，木本理事，鱒見理事，横山理事，佐々木理事，古谷野理事，大川理事，南理事，矢谷理事，小出理事，都尾理事からそれぞれ平成 28 年度および平成 29 年度 4-6 月期の活動報告がなされた。

議長は，以上をもって本日の議事は終了した旨を述べ，14 時 45 分閉会を宣し，解散した。

以上の決議を明確にするため，この議事録を作成し，議長および当該会議において選任された出席者の代表 2 名が，これに記名押印する。

平成 29 年 6 月 30 日

公益社団法人日本補綴歯科学会定時総会

議長	近藤 康弘	㊞
理事	松村 英雄	㊞
理事	市川 哲雄	㊞

会 務 報 告

公益社団法人日本補綴歯科学会
平成 29 年度第 2 回臨時理事会議事録

I. 開催日時：平成 29 年 6 月 30 日（金）

16：00～16：32

II. 会場：ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル 1F パール

〒220-8522

神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-1

電話：045-223-2222

III. 理事現在数および定足数ならびに出席理事数およびその氏名（敬称略）

現在理事数 20 名

定足数 11 名

出席理事数 19 名

出席した理事の氏名

市川哲雄，大川周治，志賀 博，横山敦郎（議事録作成者），馬場一美，大久保力廣，水口俊介，越野 寿，田中昌博，小野高裕，河相安彦，高橋 裕，山口泰彦，細川隆司，武部 純，西村正宏，窪木拓男，津賀一弘，服部佳功

IV. 監事現在数および出席監事氏名（敬称略）

監事現在数 2 名

出席した監事の氏名 櫻井 薫，山森徹雄

V. 陪席者氏名（敬称略）

理事長幹事 永尾 寛

総務幹事 坂口 究

事務局 瀬口邦夫，石川 義孝

VI. 議長の氏名（敬称略）

横山敦郎 および 市川哲雄

VII. 議題

第 1 号議案 理事長選定の件

第 2 号議案 副理事長選定の件

第 3 号議案 常務理事選定の件

第 4 号議案 委員長，委員，幹事の委嘱の件

第 5 号議案 規程集改正の件

VIII. 理事会の議事の経過の要領およびその結果

1) 定足数の確認

定刻，横山理事が開会を宣し，本理事会は定款第 44 条の規定に定める定足数を満たしており，適法に成立した旨を告げ，次の議事に入った。

2) 議長の選出

市川理事より，理事長未選定のため，出席理事の互選により議長を選出する必要があるため，本日の第 1

号議案の審議までの議長を選出したい旨が述べられた。これを受けて，各理事による互選の結果，横山理事が本日の第 1 号議案の審議までの議長となることだが，出席理事全員一致にて承認された。

3) 議案の審議状況および議決結果等

第 1 号議案 理事長選定の件

議長から定款第 31 条第 2 項および役員選任規程第 2 条に基づき，市川理事を理事長として選定したい旨の説明がなされた。

審議の結果，出席理事全員一致にて承認した。

続いて，横山理事より，以後の議事については，定款第 43 条第 1 項の規定により，理事長が議長となることが説明され，各理事から異議が述べられなかったため，以後は市川理事長が議長を務めた。

第 2 号議案 副理事長選定の件

議長から定款第 31 条および役員選任規程第 3 条に基づき，大川理事，志賀理事を副理事長として選定したい旨の説明がなされた。

審議の結果，出席理事全員一致にて承認した。

第 3 号議案 常務理事選定の件

議長から定款第 31 条および役員選任規程第 4 条に基づき，横山理事，馬場理事を常務理事として選定したい旨の説明がなされた。

審議の結果，出席理事全員一致にて承認した。

第 4 号議案 委員長，委員，幹事の委嘱の件

議長から役員等の会務担当規程第 3，4 および 6 条に基づき，委員長，委員，幹事を委嘱したい旨の説明がなされた。

審議の結果，出席者理事全員一致で承認した。

第 5 号議案 規程集改正の件

議長から別紙資料に基づき，規程集における以下の規則の改正を行いたい旨の説明がなされた。

表彰関連経費規則【改正】

審議の結果，原案通り出席者理事全員一致で承認した。

IX. 報告事項

1) 代表理事・業務執行理事の職務執行状況について
とくに報告事項はなかった。

2) その他

大川副理事長から，今後検討している規程制定および改正に関する基本方針について説明と報告がなされた。

以上をもって議事の審議ならびに報告等を終了したので、議長は 16 時 32 分閉会を宣し、解散した。
この議事録が正確であることを証するため、出席した理事および監事が記名押印する。

平成 29 年 6 月 30 日				
公益社団法人日本補綴歯科学会				
議長	代表理事（理事長）	市川哲雄		㊟
副理事長	大川周治			㊟
副理事長	志賀博			㊟
常務理事	横山敦郎			㊟
常務理事	馬場一美			㊟
理事	大久保力廣			㊟
理事	水口俊介			㊟
理事	越野寿博			㊟
理事	田中昌博			㊟
理事	小野高裕			㊟
理事	小河相彦			㊟
理事	高橋裕			㊟
理事	山口泰彦			㊟
理事	細川隆司			㊟
理事	武部純			㊟
理事	西村正宏			㊟
理事	窪木拓男			㊟
理事	津賀一弘			㊟
理事	服部佳功			㊟
監事	櫻井薫			㊟
監事	山森徹雄			㊟

会 務 報 告

公益社団法人日本補綴歯科学会
平成 29 年度第 3 回臨時理事会議事録

I. 開催日時：平成 29 年 7 月 31 日（月）

12：35～13：05

II. 場所：公益社団法人日本補綴歯科学会事務局会議室

〒105-0004 東京都港区新橋 5 丁目 13 番 5
号 新橋 MCV ビル 3 階

電話：03-5733-4680

III. 理事現在数および定足数ならびに出席理事数およびその氏名（敬称略）

現在理事数 20 名

定足数 11 名

出席理事数 20 名

出席した理事の氏名

市川哲雄、大川周治、志賀 博、横山敦郎（議事録作成者）、馬場一美、大久保力廣、水口俊介、越野 寿、田中昌博、小野高裕、澤瀬 隆、河相安彦、高橋 裕、山口泰彦、細川隆司、武部 純、西村正宏、窪木拓男、津賀一弘、服部佳功

IV. 監事現在数および出席監事氏名（敬称略）

監事現在数 2 名

出席した監事の氏名 櫻井 薫、山森徹雄

V. 陪席者氏名（敬称略）

理事長幹事 永尾 寛

総務幹事 坂口 究

事務局 瀬口邦夫、石川義孝

VI. 議長の氏名（敬称略）

市川哲雄

VII. 議題

第 1 号議案 規程集改正について

第 2 号議案 プロソ'17 の大会長選任について

第 3 号議案 理事長幹事の委嘱について

VIII. 理事会の議事の経過の要領およびその結果

1) 定足数の確認

定刻、理事長が開会を宣し、本理事会は定款第 44 条の規定に定める定足数を満たしており、適法に成立した旨を告げ、次の議事に入った。

2) 議案の審議状況および議決結果等

第 1 号議案 規程集改正について

議長から、別紙資料に基づき、規程集における以下の規程の改正ならびに制定を行いたい旨の説明がなされた。

役員等の会務担当規程【改正】

専門医制度委員会規程【改正】

運営に係わる顕彰規則【改正】

講演等に係わる謝礼等に関する規則【改正】

専門医制度施行細則【改正】

特命委員会規程【制定】

プロソ実施要項【制定】

審議の結果、原案通り出席者理事全員一致で承認した。

第 2 号議案 プロソ'17 の大会長選任について

議長から、プロソ実施要項の制定に基づき、プロソ'17 の大会長に末瀬一彦代議員（大歯大）を推薦したい旨の説明がなされた。

審議の結果、出席者理事全員一致で承認した。

第 3 号議案 理事長幹事の委嘱について

議長から、役員等の会務担当規程の改正に基づき、横山正起代議員（日歯大）、飯田 崇前総務幹事（日大松戸）に理事長幹事の委嘱を 6 月 30 日付（遡及）で行いたい旨の説明がなされた

審議の結果、出席者理事全員一致で承認した。

IX. 報告事項

1) 代表理事・業務執行理事の職務執行状況について

代表理事から、次年度プロソ'18 の大会長選任について、10 月開催予定の臨時理事会で議案としたい旨の報告がなされた。副理事長兩名、常務理事兩名からは、特に報告事項はない旨の報告がなされた。

2) 第 126 回学術大会の寄附について

櫻井監事から、第 126 回学術大会の寄附の報告、すなわち寄附金取扱規則第 6 条執行の件（財務担当理事は、寄附金の受入状況および使用状況について、少なくとも年 2 回または必要に応じて理事会に報告しなければならない。）についての質問があり、水口財担当理事より、12 月の理事会にて他の寄附を含めて報告する旨の回答がなされた。

以上をもって議事の審議ならびに報告等を終了したので、議長は 13 時 05 分閉会を宣し、解散した。

この議事録が正確であることを証するため、出席した理事長および監事が記名押印する。

平成 29 年 7 月 31 日

公益社団法人日本補綴歯科学会

議長 代表理事（理事長）市 川 哲 雄 ㊟

監事 櫻 井 薫 ㊟

監事 山 森 徹 雄 ㊟